

発行所 群馬県立高崎女子高校 同窓会 高崎市稲荷町20 電話(027)362-2585 発行責任者 吉村晴子 印刷所 ほその印刷

わたしたちの同窓生

《109周年》

会員数 31,457名

平成20年4月1日 現在



同窓会報

椎の樹



心合わせて 同窓会長 吉村晴子

同窓会の皆様ご健勝にて平成20年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

いま母校高女は高い教育水準を保ち、在校生は澁刺と学業に部活動に励み大きな成果をあげています。

卒業生であることを誇りに思っています。絆を大切に、同窓会もさらなる教育の向上に寄与してまいりたいと願っております。

こんな美しい夜明け

校長 飯野眞幸



足かけ30年近く続いたテレビ「大岡越前」や舞台活動等で知られる俳優の加藤剛さんの著書に、「こんな美しい夜明け」(岩波書店)という1冊があります。

「夜明け前の音がだんだん聴き取れるようになった鳥達は声をたてずにまず羽ばたく。暗黒の中に光を感じたらもう身を挺して一直線に闇に飛ぶのだ。一寸先は光だと信じて、彼らが歓喜の声をあげるの、信じた光に出会えたからである」

私は朝型の人間で、通年5時前には起床をします。出勤までの約2時間が私にとって貴重な時間で、教員時代は参考書などを書いたり、また、現在は、頼まれた原稿を書く間に充てています。

入会のことば

冷たく吹きつける空つ風の隙間に、春の芽吹きを覚えるこの良き日、私たち321名は先程無事卒業式を終えることができました。

同窓会総会

平成19年5月1日 母校 椎樹館

5月1日、多くの会員の参加と学校長をはじめとするご来賓の方々のご列席をいただき、母校椎樹館にて平成19年度同窓会総会が開催されました。



吉野烈子副会長の開会の言葉に始まり、吉村晴子会長の挨拶のあと飯野眞幸校長及び根岸淳PTA会長のご祝辞と総会は進んでいきます。

議事に移ってからは吉村会長が議長をつとめ、平成18年度事業報告に始まり、同会計報告、会計監査報告及び同窓会則改正についての報告が行われました。

平成20年1月1日の夜明けは例年にも増して素晴らしいものでした。今年も、黄檗宗(禪宗)の名刹として名高い甘楽郡南牧村の黒瀧山不動寺で新しい年を迎えました。山の稜線から顔を出した初日の出に、生徒たちの幸運を祈りました。

只今、私たちは高女同窓会の入会式に臨み、伝統の担い手の一人となる誇らしさ、そして受け継いでいくことの責任を強く感じております。まだまだ未熟な私たちではありますが、諸先輩方を手本とし、これからの長い道程を歩みます。常に高女同窓会員であるという自覚を持ち、高女の発展に貢献できるようにそれぞれ



新入会代表 市川祐子 (高60回期別幹事) 館泉かな恵・塚越 里絵 吉田 望・市川 裕子

《朝夕窓に》校歌CD



1音楽部員による合唱 指揮 荒木奈都子

2ピアノ演奏 ピアノ 澤田まゆみ

3音楽部員・OGによる合唱 演奏 吹奏楽部員及びマンドリン部員・OG

4吹奏楽部員及びマンドリン部員・OGによる演奏 指揮 飯野 眞幸

指揮 飯野 眞幸

校歌CDの頒布については、たくさんのお問い合わせをいただきありがとうございます。購入を希望される方は次の方法でお願いします。

- ①会合の際に直接購入 総会、京浜同窓会、期別幹事会、新年会の各会場にて頒布いたします。(一枚500円)
②母校にて直接購入 事前にお約束の上、母校で購入することも出来ます。お電話にて係までご連絡下さい。(一枚500円)
③現金書留による購入 郵便番号、ご住所、お名前、お電話番号を明記の上、送料込み一枚につき800円を母校あてに現金書留で送付してください。同窓会にて取扱い、随時発送いたします。
〒370-0062 高崎市稲荷町20同窓会事務局行

平成20年度 同窓会総会& 講演会開催のお知らせ

恒例の総会を下記により開催いたします。例年より早い開会となります。会員の皆様、お誘い合わせの上、多数ご参加ください。なお、総会に引き続き行われます講演会は、昨年好評でした丑丸先生にイスラムの世界についてお話しいただく予定です。どうぞご期待ください。

- 1. 日時 5月1日(木) 受付 13時00分より(期別懇談・常任幹事推薦・CD頒布) 総会開会 13時50分より
2. 場所 母校 椎樹館
3. 講演 「ユダヤ人とユダヤ教」 講師 丑丸 幾三先生

平成20年度 行事予定

Table with 3 columns: Date, Event, Contact Person. Rows include: 平成20年5/1(木) 総会・講演会 (高32 狩野君江), 平成20年6/29(日) 第57回京浜同窓会 (高33 町田麻子), 平成20年9/1(月) 旅行申込日(椎樹館) (高32 須田諭美), 平成20年10/19(日) 同窓会親睦旅行 (高32 須田諭美), 平成21年2/1(日) 新年会(高崎ビューホテル) (高32 狩野君江), 平成21年3/2(月) 同窓会入会式, 平成21年4/1(水) 会報23号発行

※来年度の当番期は高33回になります。

2007年度 総会記念講演

講師 丑丸 幾三 先生

「イスラムとその世界」を聞いて

高31 石井智子
私にとってイスラム諸国とは石油・民族紛争・テロなどの悪いイメージしか浮かばなく、あまりなじめない世界でした。丑丸先生は、細かく簡潔書きに地図も組み込まれた資料に基づいて、流暢にわかりやすく説明、お話しくださいました。



まずイスラムの人数・民族の分類と一神教・多神教の違いの説明から始まりました。そしてイスラム教の始祖マホメットの生いたちから、教義(六信五行の内容、イスラム世界が拡大されていった歴史の説明へと進んで行きました。徹底した偶像否定、戒律を厳守する為に、ウラマーと呼ばれる宗教的指導者がいて、社会全体で強固な宗教共同体を作っているという特徴があります。神アッラーの為の戦いをジハード(聖戦)といい、これがイスラム過激派を生み、たびたび自爆テロなど行ない、世界中から非難を浴びています。2001年9月11日のニューヨークの同時多発テロを遂行し、全世界に多大な衝撃を与えました。

まじめな人々が気の毒に思っています。

講師紹介

昭和9年高崎市に生まれ、高崎商業高校を経て早稲田大学文学部卒業(西洋史、主としてイギリス近代史専攻)高女を振り出しに高校で世界史を担当。渋川西高校(青翠高校)校長にて退任。県教育センター嘱託、箕郷町老人センター所長、箕郷町教育委員等を経て現在、区長・獅子舞保存会長等で活躍。

趣味 スキー、ゴルフ、社交ダンス、囲碁等

そして正統カリフ時代からウマイヤ朝アッバース朝と続き、その後トルコ人に主導権が移って行くのですが、残念ながら時間が足りなくなってしまうました。テレビ・新聞では、米軍など軍隊が派遣されたたび紛争が起こっている報道ばかりで、悪いイメージしかないイスラム世界でも、立派な文化もあるはずで、そのあたりをもっと詳しく知りたいと思えました。先生のお話を聴いている最中は、高校時代の社会の授業を受けている気分になり懐かしくなりました。

次回の記念講演で、この続きをお話いただけるのをご期待し、楽しみにしております。

新年会



高31 大島範子
暖冬の続いた近年では珍しく、朝起きると一面の雪景色。小雪の舞う中、恒例の新年会が、2月3日高崎ビューホテルにて盛大に開催されました。飯野校長先生はじめ4名のご来賓の方々を迎え、約300名のご参加者の下、華やかな会となりました。

まず、吉村晴子同窓会長のご挨拶、今年度作製されたなつかしい校歌のCDの紹介がありました。そして、飯野眞幸校長先生のご祝辞をいただき、田口哲男教頭先生の乾杯のご発声で祝宴が始まりました。

高31 大島範子
おいしい食事をいただきながら、各テーブルで賑やかに楽しい話の華を咲かせた後は、大貫香澄さん(高36)のソプラノ独唱と、今川寿美さん(高37)のピアノ伴奏による演奏会がありました。未来を展望する「むこうむこう」をお二人の思い出の曲「落葉松」や「赤とんぼ」(すてきな春に)などの透き通った歌声に明るい未来や春の訪れを感じることができました。また、今川さんの「華麗なるワルツ」など3曲のピアノ演奏にうっとりときき入り、心が洗われるようでした。

同窓会合唱団によるコーラスでは、小林美佐子さん(高18)の指揮と横塚恵子さん(高21)のピアノ伴奏で「あなたとわたしと花たち」と「落葉松」「千の風になつて」の3曲を美しいハーモニーで披露してくださいました。そして、月冬はダイヤのようにきらめく雪になるの歌詞のように故・斎藤民先生を偲んで「千の風になつて」を全員で合唱致しました。

その後、事務局、旅行委員からのお知らせがあり、高31回から高32回への当番期の引き継ぎが行われました。最後に、全員で校歌を合唱し、学生時代を懐かしみつつ楽しいひとときは閉会となりました。また来年も多くの方に参加していただいで、同窓会の和を深め、益々皆様健康にご活躍される糧となる会になると良いなと感じました。

高女の思い出と近況 須藤 良昭



今より46年前、昭和37年4月に私は前市女より高女に赴任しました。それから12年間高女にお世話になりました。私の36年の教師生活の丁度3分の1が高女の生活でしたが、よき仲間とよき生徒に恵まれ、最も充実した楽しい学校生活でした。

TEACHER

現在中央公民館となつている建物は当時は木造平屋建のオンボロ校舎でした。その中の教室で数学の授業をしました。黒板の半分が光って生徒から見えないので幾何の証明問題の解答を板書するのに苦労したこと



もありました。小黒板など利用して間に合わせて授業をしたのが懐かしく思い出されます。

1963年(昭和38年)頃のことでした。それは私の好きな山、谷川岳の標高が1963米で一致するのでよく憶えています。数学の授業が脱線して山の話になったこともありました。12年間の高女の生活で一番の思い出はフットボールのことです。若い教員が集まってよくソフトボールをやりました。気持ちよい汗をかき、たる平で冷たいビールでノドを潤すのが最高の楽しみでした。当時のメンバーは高橋義明、石井次男、北爪蔵次、須藤良昭、原田光男、小屋好弘、岩根承成、峰哲彦、小林幸雄、島田昌俊、田中彰、萩原章三……(敬称略)みんな懐かしい人達です。この人達とは2年に1度開催される椎の実会(末広町時代の旧職員集い)で旧交をあたためています。このうち数年前に田中彰さん、つい最近小屋好弘さんがお亡くなりになりました。大変残念なことでお二人のご冥福を心よりお祈りいたします。今も県ソフトボール界で活躍している高橋さんの快速球とみんなのチームワークで高教組の県大会で優勝を重ねたのはいつまでも忘れられない懐かしい思い出です。その頃は若い教師が伸び伸びとしてよくまとまっていた。その団結力が学校運営上大きな力となり、生徒の指導にも大いにプラスになったと思います。

あれから30数年がたち青年教師だった私もいつの間にか古稀を過ぎ70代も半ばとなりました。土樽スキー場や中里スキー場で行なつたスキー教室も懐かしい思い出で、当時スキーに魅せられて、食事を忘れて滑りまくった私も今は

椎の小径

高6 福島るり子

○ 両の掌にあまるほど茗荷採りためぬ
今日の夕べは茗荷づくしか

○ しじみの実ひとつひとつを取るわれと
汁のみを吸ふ夫との夕餉

○ 夕暮を己が重みにゆれてゐる
縋るものなきひとつ糸瓜が

(歌集『茗荷づくし』より)

○ 制服のをとめは霧の元白根
石碑の中に永久に眠れり

○ 三十年月日はたてど悲しみは
友の心に消ゆることなく

○ 線香の煙燻れる墓碑前に
校歌のこだまひびきわたれり

(同窓会親睦旅行に参加して)

第19回 椎樹祭に参加して

高25 小峯美恵子

22年前、高女創立80周年記念行事の一環でOG絵画展が群馬音楽センターで開催されました。今回の椎樹祭参加で7回目となります。初回は10名程でしたが次第に増え、今回は20名の出品でした。洋画、日本画、版画と多彩で、作風も抽象、風景、人物画とバラエティに富みました。普段はそれぞれの会派に属して活動している出品者は80代から30代まで幅広く、同窓生としての親睦をはかることと、後輩への刺激を目的としています。

観覧者からは「素人の域を超えた素晴らしい作品」とのお言葉を頂戴しました。出品者も高齢化し、仕事を持ちながらですが、今後もOG展が開催できる様に続けていきます。

フ協会の事務局長を多忙な日を送っています。何となくでも健康第一です。高女で過ごした皆様のご健勝を心より願ひ筆をおくことにします。



ドキュメンタリー映画 原口鶴子の青春

高31 新井美智子

明治19年、一ノ宮町(現富岡市)に生まれた鶴子(旧姓新井)は、母校第1回の卒業生です。日本女子大学から、米国のコロンビア大学に留学して心理学を学び、日本女性初の哲学博士の学位を取得しました。留学仲間の原口竹次郎と結婚し2児を生みましたが、結婚のため29歳で夭折しました。

この百年前の留学記である『楽しき思い出』が出版されたことは、「椎の樹」第16号に紹介されていますが、平成19年4月、この本をもとに、鶴子の生涯が泉悦子監督により自主制作され、第20回東京国際女性映画祭の招待作品に選ばれました。

機会があれば、皆様もぜひご鑑賞ください。

原口竹次郎・鶴子夫妻 (1914年)





高原の秋の気配を訪ねて

京浜同窓会

高32 浅井紀子

平成19年7月8日、由緒ある目白椿山荘タワー9階アザレアにおいて、第56回高女京浜同窓会が開催されました。当日は、梅雨時にもかかわらず薄陽のさす天候のなか、母校同窓会のご来賓の皆様、懐かしい恩師の方々にもご臨席いただき、総勢107名の賑やかな宴となりました。

京浜同窓会鈴木会長の開会のご挨拶の後、同窓会から上品な和服姿の吉村会長より、笑顔あふれる爽やかなご挨拶を頂戴致しました。その後、飯野校長、関根副校長よりご祝辞を頂きました。「勤務先

は高女、帰宅致します」と嬉妻、娘も高女の同窓生でした。のお話に、思いがけず会場内の方々から笑みがこぼれ、暖かな空気に包まれてまいりましたのが印象的でした。乾杯後、初夏のすがすがしい都心の風景をバックに、フランス料理のコースをいただきましたが、途中来賓の方々のご挨拶を交えて、終始和やかなムードで会がすすんでまいりました。



次回京浜同窓会の御案内

平成20年6月29日(日)
午後12時より～
新宿 京王プラザホテル
問い合わせ先
高33 町田麻子

最後に、鈴木会長の颯爽とした指揮のもとでの恒例の校歌斉唱となり、見事な三部合唱の響きに感動を覚えつつ、参加者の胸に来年の再会を誓い閉会となりました。伝統ある母校を再認識し、知的で前向きな皆様に刺激をうけ、旧交を暖める良き機会をいただきましたこと幹事一同心より感謝を申し上げます。

高32 須田諭美
爽やかな秋の一日、高女同窓会の親睦旅行に参加しました。私は昨年度から旅行に参加させて頂きましたが、当番期の幹事の方々の心配りと、同窓会の皆様の和やかな雰囲気のおかげで楽しい一日を過ごすことができました。今年も大変楽しみにしております。

平成20年度 高女同窓会親睦旅行へのお誘い

- 国際都市Tokyoで新しい文化の創造を見る
1. 期日：平成20年10月19日(日)
 2. 行程：東京方面日帰りバス旅行
高崎駅 8:00...国立新美術館見学(2時間程度)
...食事...原宿・表参道散策(1時間程度)...鳩山会館見学...高崎駅東口解散 18:00
☆昼食はヘルシーなイタリア料理
トラットリア・ベニーレベニーレ
 3. 費用：12,000円
 4. 定員：50名(バス1台)
 5. 申込方法：母校椎樹館
平成20年9月1日(月)10～15時
※口座振替による申込も可能です
ゆうちょ銀行(8月25日締切)
〈口座番号〉00240-7-65687
〈加入者名〉
高崎女子高校・高32 同窓会
《お問い合わせ 旅行委員》
高32 須田諭美
高32 山本友子

本を中心に、近・現代に活躍する絵本作家の原画や初版本が展示されており、この時は「アメリカ絵本展」現代絵本を築いたイラストレーター「世界」がテーマで、私の好きなマーシャ・ブラウンやモリス・センダックの原画を楽しむことができました。また、あまり関心のない邦人作家の作品に触れることもできて新鮮でした。

最後は「メルシャン軽井沢美術館」。深い緑の蔭に守られたウイスキー蒸留所見学の

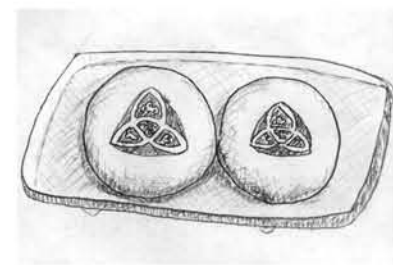
最後に、鈴木会長の颯爽とした指揮のもとでの恒例の校歌斉唱となり、見事な三部合唱の響きに感動を覚えつつ、参加者の胸に来年の再会を誓い閉会となりました。伝統ある母校を再認識し、知的で前向きな皆様に刺激をうけ、旧交を暖める良き機会をいただきましたこと幹事一同心より感謝を申し上げます。

期別同窓会

けしの会

女44 須賀禮子

私達は昭和16年入学20年卒業という、戦争一色の女学生としての「けしの花」は、今も目に鮮やかに残っています。間もなく馬鈴薯畑に変わり、二度と美しい花は見られませんが、卒業何十年も経ってからの会を決める時多くの声が、「幻のけしの花」で



の秋を楽しみ尽くぬ思いを胸に、駅で見た夕焼空。今は亡き恩師も友も千の風になつて、この一期一会に加わって下さったと感じて、胸が熱くなりました。

高32回 同窓会
高32 狩野君江
平成20年1月13日、高崎のイタリアンレストラン・グラツイエにて、昭和55年卒業以来初めての学年同窓会が開催されました。年明け一番の冷え込みの中、恩師や同窓生110名の方々が集い、皆再会した途端喜びあふれた挨拶と笑い声が賑わいました。

友は老後の宝
高16 四本宜子
高16回の私たちも、選歴は、あつという間に通過し、さて、これからの人生は、などと考える昨今です。

バスケット部OG会
高25 林 いずみ
8月25日(土)、ホテルメトロポリタンに、多胡英子会長の一声で、大学1年から64歳までのOG、113名が一堂に会しました。

さつき会喜寿の集い
高47 佐藤和子
さつき会は戦後の学制改革で昭和22年から24年まで3回に別れて卒業した女46回女47回高1回の同窓会です。全員は昨年77歳になりました。

河川湖、伊豆・箱根、宝塚観劇等バスでの一泊旅行は、各地に散らばる仲間との旧交を温め、回を重ねる度に別れがたい思いが深くなります。今年も東京での集いを企画しています。同期の方へは「学年通信」でお知らせします。



OGの栗原道子さんのミニコンサートもあり、その歌声に全員が、シャンソンの世界へ引き込まれました。

先生を囲んで記念撮影、校歌を斉唱し、高女バスケット部の飛躍を祈念し閉会しました。

最後、心を込めて校歌を合唱する全員の明るい歌声に、皆幸せなこのひとときをかみしめました。良き師、良き友に恵まれたことに心から感謝しつつ、いつまでも別れがたい素晴らしい同窓会でした。

母校の近況

● 図書館の一般開放について
母校では平成19年9月より図書館の一般開放を行っております。

期間 図書館開館日(土曜・日曜・祝日・各種行事日・長期休業等の一部は閉館)

時間 13:30～15:30
貸出 1人1回3冊まで。貸出期間は2週間。

登録手続き ・住所・電話番号等の確認できるもの(運転免許書等)をご用意下さい。
・ご本人が事務室窓口で「利用登録申請書」にご記入のうえ、図書館においでください。



受付 登録手続きがお済みの方は事務室窓口で「利用登録証」を提示してご来館下さい。
お願い 学校の教育活動が優先されます。開館日であっても、念のため当日午前中にお電話でお問い合わせ下さい。
【母校 ☎ 027-362-2585】

● バレーボール部
27年ぶり決勝進出

5月、高校総体。バレー部の選手達は、高く堅固な壁を前にコートに立っていました。故障などの苦難を抱えながらチーム一丸となって強豪・高商に食いつき、2-1で勝利。悲願の決勝進出を果たしたのです。

ターハイ予選決勝はまたしても商大附との対戦。第1セットは善戦しましたが0-2で敗退。3年生は後輩に夢を託して引退しました。
新チームはスピードとレシーブを武器に、新人・春高予選と2大会連続の決勝進出を成し遂げ、次の大会では宿敵・商大附を撃破して「優勝」の栄冠を手に入れようと意気高く練習に励んでいます。

● 放送部

「聞いて下さる方の胸に、自分の伝えたいことをしっかり届けたい。」
放送部の生徒たちはその気持ちを声に託して大会に臨みました。緊張と興奮を抑えてマイクの前に立つと、聴衆と対面する独特の雰囲気にも飲まれることなく力を発揮しました。

入賞を果たし、関東・全国への出場権を手に入れました。これは日々の地道な活動の賜物。毎日のお昼の放送では憩いのひとときを提供し、行事や集会の度に放送設備を調整し、放課後は企画会議や発声練習と日常は多忙なのです。

● 主な部活動成績

- 平成20年3月24日現在
《運動部》
● 全国大会出場
○弓道部 東日本大会出場
○山岳部 (2年連続総体優勝) インターハイへ
○新体操部 インターハイへ 1名2種目出場
○陸上部 (総体女子総合優勝) インターハイへ2種目出場
《文化部》
● 全国レベルでの受賞等

- 音楽部 全国総文祭参加
○百人一首部 全国総文祭参加
○文芸部 全国総文祭参加 全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門 入選
○放送部 全国総文祭参加 《アナウンス部門》 NHK杯 全国高等学校放送コンテスト《創作ラジオドラマ部門・創作テレビドラマ部門・アナウンス部門・朗読部門》 群馬県代表
○マンドリン部 全国高校マン ドリンフェスティバル 優秀賞

Table with 3 columns: University Name, Count, and Total Count. Includes entries for 国立大 and 私立大.

● 椎樹館トイレ改修

19年2月、同窓会の出資により椎樹館に洋式便座を設置いたしました。折に触れ、会員の皆様よりお

寄せいただいていた御意見が、学校の協力を得て形になった次第です。怪我などで不自由を感じている在校生にも大変喜ばれております。

- 高5 吉村晴子・高9 吉野烈子
高14 海老原洋子・高20 大川悦子
高43 関根みどり・高46 吉村節子
高3 金井幸子・高4 岡田俊子
高19 武井治子・高20 齊藤信子
高22 田中和子・高23 福田和子
高25 林いずみ・高26 広瀬節子
高27 冬木嘉子・高28 羽鳥康子
高31 清水実紀・高31 松田久枝
高32 狩野君江・高32 山本友子
事務局 高32 瀧川江里子
高42 阿部美香

◆皆様お変わりありませんか。会報22号をお届けします。原稿、感想をお寄せ下さり、ありがとございました。椎の樹は同窓会の活動や母校の様子をお伝えし、三万名を越す同窓生を結ぶ大切な絆であります。その役割を果たせることを願ひ、委員一同心を合わせて編集にあたっています。行き届かぬこと、お気づきの事もありましょう。どうぞなんなりと「ひとこと」をお寄せ下さり編集にご参加下さい。いただいた原稿、記載記事は、どれも同じく大切なものであり、椎の樹の紙面には上も下も、片隅という場所もありません。バリヤフリといえまじょう。母校への思い、同窓生への思いが暖かく伝わって欲しいと思っております。◆横川駅に降り立ったのは、夕暮れせまる秋の日のことでした。方角を確かめたくて、改札口であった女子高生に道を尋ねました。丁寧に教えて下さり、私の不安な気持ちを察してか別れた私の背に「大丈夫ですよ。お気をつけて」と言葉を添えて下さりました。あれから数か月たった今も思い出すと心が和みます。感謝と共に◆CD作成に参加させていただき、在校生、同窓生と校歌を合唱しました。伝統の重さと、校歌にこめられた教えを、改めてこれからの指針と高めていきます。編集委員長 高9 吉野烈子

「要約筆記」に魅せられて
高5 加藤日出子
定年を機会に「恩返し」の余生を」と始めた要約筆記。要約筆記に到達点はないと言われつつ、その奥行きにひかれて、以来13年。ふと気がつく、高20の吉井春美さん他多くの仲間達に支えられて、組織の長に。要約筆記とは、聴覚障害者への情報保障の手段です。同じ目的の「手話」との違いは、文字による伝達で、主に中途失聴難聴者を対象としています。「話し言葉を・その場で・聞きながら・要旨をまとめ・瞬時に・文字にして、



OH Pやノートを使って伝える作業」です。言わば「文字による同時通訳」と言われ、「速記」の様な記録目的とは異なります。話し言葉は同時に全部は書けません。話し言葉を文字数に換算すると、毎分300文字ですが、書ける文字数は約60文字とされています。つまり凝縮技術の鍛錬によって、いかに早く・正確に・読み易く伝えられるかが問われ、その成果で難聴者の公平な社会参加が保障されるのです。
本県に要約筆記が導入されて16年ですが、歴史の浅い宿命で、社会一般の認知度が極めて低く、一層の啓蒙運動を痛感しています。
幸い先の国会で「障害者自立支援法」が制定され、要約筆記の派遣業務が各市町村の必須事項に定められ、これを受け高崎市でも、我が群馬要約筆記会(県広域ボラ団体)と連携し「要約筆記教室」を開催、他市に先んじて効果を挙げています。同期の和田牧恵さんほか広く同窓生のご参

顕彰
高9 落合玲子さん
瑞宝双光章
平成19年11月3日
看護業務功労により、受賞されました。



加をいただいております。また、他市においても、高校の福祉授業の一環として、講師派遣も行っていきます。要約筆記者は、聴覚を失った方々の絶望感、喪失感、焦燥感を癒し、ノーマライゼーション社会で、共に生きることを大目的としています。

北から南から
◇女31 大塚豊子(前橋市)
本年4月17日で満92歳になりました。
◇女33 高橋久子(渋川市)
戦争の空気を感じ始めた学生時代からもう90歳に足をふみ入れました。時代から取り残された者同志、時おり人数ではありますが、楽しかった昔の思い出に花を咲かせております。役員の皆様へ感謝しつつ、ますますの御発展を祈念しながら会報を楽しみに読ませて頂いております。
◇女35 千葉正子(墨田区)
87歳迄長生致しております。
◇女39 本谷志づ(諏訪郡)
1年はまたたく間ですが、今年も会報を見る事が出来て幸せに思います。
◇女42 今村貞子(安中市)
在学中同級生と楽しく過ごした事と共に、戦時中の勤労奉仕など勉強どころか国の為に働く毎日など思い浮かべま

す。
◇女43 柿沼栄子(伊勢崎市)
間もなく傘寿を迎えますが元気に過ごさせて頂いてます。
◇女44 福田きよ子(豊島区)
同窓会会報で、古い椎の大樹に開かれた旧校舎をなつかしく思い浮かべました。
◇女46 伊東延子(江東区)
私の母の姉は高女3回卒業母は高女19回卒業です。いつも3人で校歌を合唱していました。なつかしいです。私は薬剤師薬局をしています。
◇高12 福田公代(沼田市)
高校時代よりずっと続けているコーラス、今もおかあさんコーラスで歌っています。
◇高13 佐藤洋子(高崎市)
7度めの結願を目指し四国遍路続行中。足腰まだまだとおっしゃる方がいますか？ 遍路旅もいよいよです！
◇高17 井田祐子(伊勢崎市)
昨年、茜会に出席致しまし

た。40年ぶりに会った友は誰が誰だかさっぱり分からず、過ぎ去った日々の長さを思い出しました。帰宅してから卒業アルバムを引っ張り出し、一人一人を確認しながら楽しいひと時を過ごしました。
◇高19 石原佐知子(前橋市)
元気に生きています。子育てが終わり、第二の自分の生きがいを見つけ頑張っています。
◇高21 宮崎益美(館山市)
神奈川県から館山市に転居しました。B&Bとカフェをオープンしました。第二(第三?)の人生の始まりです。
◇高22 長淳子(太宰府市)
九州は福岡に住んで25年。音楽の輪が広がりがジャズ・クラシック・ポップスとの仲間とライブコンサートを開きました。高崎も音楽の町、福岡の太宰府も音楽の街です！
◇高38 松茂美佐子(小松島市)
懐しい先生のお顔を拝見して、遠く徳島の地で女子高生時代を思い出す事ができました。

◇高44 竹田麻由美(流山市)
娘はもうすぐ3歳。良妻賢母めざし奮闘中です。
お知らせ
※毛野の広野会
△放送大学で学ぼう会V
平成19年3月24日渋谷のNHKホールで卒業式に出席しました。6コースで3千人以上が卒業となりました。卒業までに6年かかりましたが、何かをやりとげた満足感で一杯になりました。
放送大学の校歌の中に「生きているのは学ぶこと、学ぶのは楽しい。」とあります。専門の先生の話を聞くのは本当に興味深いものです。みなさんも是非一緒に！
《連絡先》
高26 広瀬節子
※高19回の方へ
平成20年10月18日(土)メトロポリタンにて還暦同期会開催。詳細は個別通知にて。(代) 綱島千栄子

◆皆様お変わりありませんか。会報22号をお届けします。原稿、感想をお寄せ下さり、ありがとございました。椎の樹は同窓会の活動や母校の様子をお伝えし、三万名を越す同窓生を結ぶ大切な絆であります。その役割を果たせることを願ひ、委員一同心を合わせて編集にあたっています。行き届かぬこと、お気づきの事もありましょう。どうぞなんなりと「ひとこと」をお寄せ下さり編集にご参加下さい。いただいた原稿、記載記事は、どれも同じく大切なものであり、椎の樹の紙面には上も下も、片隅という場所もありません。バリヤフリといえまじょう。母校への思い、同窓生への思いが暖かく伝わって欲しいと思っております。◆横川駅に降り立ったのは、夕暮れせまる秋の日のことでした。方角を確かめたくて、改札口であった女子高生に道を尋ねました。丁寧に教えて下さり、私の不安な気持ちを察してか別れた私の背に「大丈夫ですよ。お気をつけて」と言葉を添えて下さりました。あれから数か月たった今も思い出すと心が和みます。感謝と共に◆CD作成に参加させていただき、在校生、同窓生と校歌を合唱しました。伝統の重さと、校歌にこめられた教えを、改めてこれからの指針と高めていきます。編集委員長 高9 吉野烈子

